

広報

くどやま

2019

9月号

No.527



九度山保育所の子どもたちが柿の摘果体験をしました。





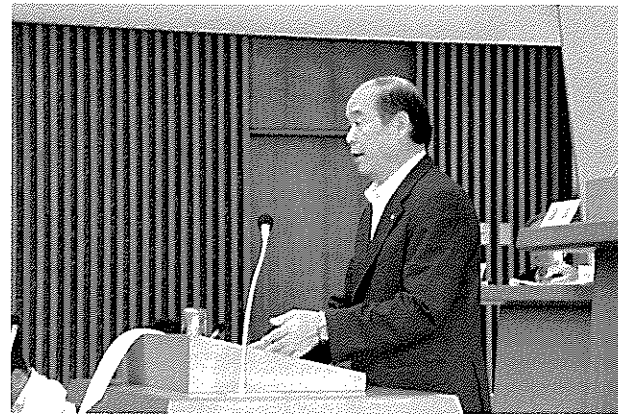
議長 九度山中学校 河合 隆志	7番議席 九度山中学校 井上 真依	8番議席 九度山中学校 上田 翔也	9番議席 九度山中学校 土岐 瞭太郎	10番議席 九度山中学校 野口 夏鈴	
1番議席 九度山小学校 安念 佳音	2番議席 九度山小学校 西尾 崇士朗	3番議席 九度山小学校 森 遥希	4番議席 九度山小学校 森内 司采	5番議席 河根中学校 正木 太遥	6番議席 河根中学校 神丸 陽生

子ども議会が開催されました。

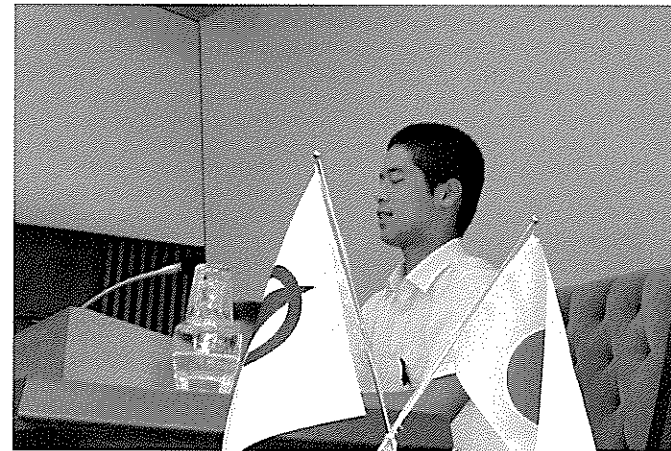
子ども議会が開催されました。

8月8日、第13回子ども議会が本町の議場において開催され、町内の小・中学校の児童、生徒11名が議会を体験しました。子ども議会は、未来を担う子どもたちが町政に参加する体験を通して、町議会のしくみや流れを学び、子ども自身が町政についての理解や関心を深めるとともに、自身の考え方や発表の力を高めることを目的としています。議事の進行は、子ども議長により行われ、子ども議員の質問は、一般質問形式により1人1問で行われました。

質問では、「環境問題」、「観光振興」、「防災対策」、「人口減少対策」、「農業」、「空き家の有効活用」、など幅広い分野のテーマが取り上げられました。



▲答弁する町長



▲議長の河合さん

子ども議員の皆さんは、元気よく、わかりやすく発言し、どの質問からも九度山町をより良くしたいという思いが伝わってきました。

これらの質問に対して、岡本町長は1問ずつ丁寧に答弁し、質問した子ども議員はその答弁にうなずきながら、納得した様子で聞いていました。傍聴席でも、小・中学生が真剣な表情で、熱心に聞き入っていました。

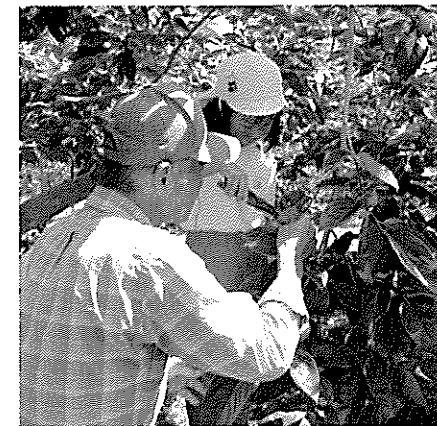
参加した子どもたちには、子ども議会での経験を活かし、今後の九度山町のまちづくりを担う人材として成長してほしいと願っています。



柿の摘果体験を行いました。

7月30日、九度山保育所の5歳児ぞう組の子どもたち14人が、中谷裕一さんの畑で柿の摘果体験をしました。はじめに、中谷さんから摘果について説明があり、子どもたちは真剣に話を聞いていました。

摘果体験が始まると、一人一人はさみを力いっぱい握りしめ、柿の実を切り落としていました。



▲体験終了後、中谷さんから柿の種類についてお話があり、実際に柿の実をはさみで切り、中身を子どもたちに見せると、種がある柿（富有柿）とない柿（ひらたねなし柿）の違いに驚いていました。

「大収穫祭IN九度山」フリーマーケットの出店者を募集します！

■日時 11月16日（土）・17日（日） 午前10時～午後4時

※2日両日の出店を原則とします。

■場所 道の駅「柿の郷くどやま」芝生広場

■参加資格 満20歳以上の個人・グループ

■募集区画 約20区画程度【1区画2.5m×2.5m】（1人2区画まで）

※先着順とし、予定区画数に達し次第、受付を締め切りといたします。

■出店料 1区画2,000円/1日（2日で4,000円）

■申込方法

役場産業振興課に備え付けの『出店申込書兼誓約書』に必要事項を記入の上、出店料を添えて、お申し込みください。

■申込期間 9月2日（月）～13日（金）

■問い合わせ 「大収穫祭IN九度山」実行委員会事務局（役場産業振興課内 ☎54-2019）

「子ども陶芸教室」が行われました。

「子ども陶芸教室」には、小学校1年生から5年生までの14人の申込があり、初日に参加した子どもたちは、最初に粘土をこねてから、その粘土をお椀やお皿、花瓶など、それぞれが思うような形に作り上げました。

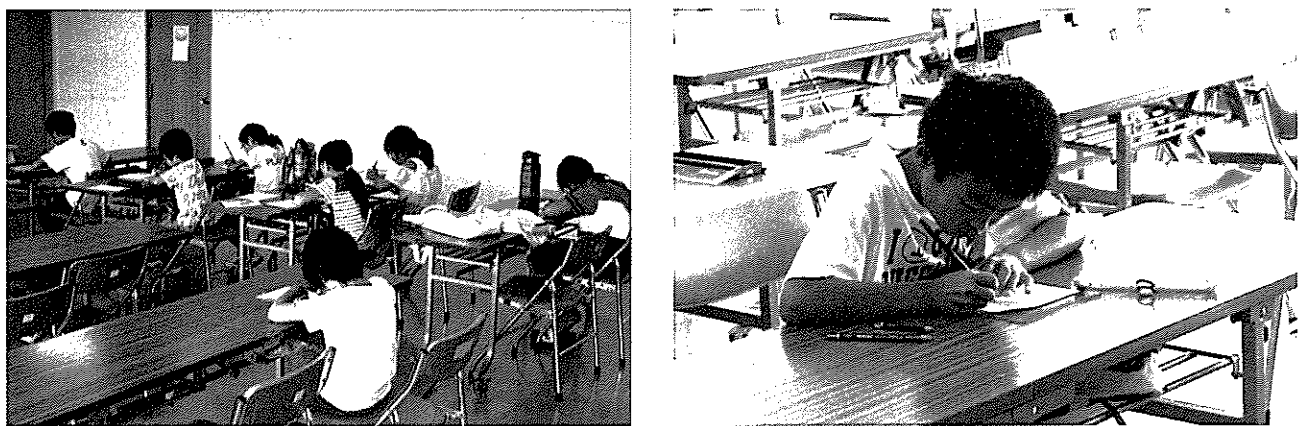
2日目は、お皿や、花瓶のでこぼこを削ったり、お椀の口や高台を整えたり仕上げ作業をしました。

3日目は、素焼きされた作品に釉薬（ゆうやく）で色付けをし、その後の本焼きでどのような作品に出来上がるのかを楽しみに、一連の作業を終えました。



「子ども書道教室」が行われました。

中央公民館において、子ども書道教室が行われました。参加した子どもたちは、真剣な表情で机に向かい、時間をかけて丁寧に字を書いていた。



スポーツの大会において、好成績を収めましたので、お知らせします。

スポーツ

なぎなた大会で優秀な成績

7月6日～7日に九度山文化スポーツセンターで「第43回和歌山県なぎなた夏季大会」が開催され、九度山教室のチームが優秀な成績を納めました。（敬称略）

- 小学生個人の部
優勝 野中 香那
- 男子個人の部
第3位 稲垣 雄哉



まちづくりを考える 「推出ふるさとづくりの会」 地域を活性化させる取り組みを紹介します！

■推出地区について

現在（令和元年7月末時点）では、約100戸・300人が暮らす、小さな集落ですが、最も栄えた時代では、300戸・2500人もの人々が暮らしており、旅館は十数件、茶店、土産物屋等に至っては50店が建ち並ぶなど、高野山参りの宿場町として大いに栄えていたそうです。



天空の柿園でのハイキング風景

■事業について

初めて行った事業は、地区周辺のガイドマップの作成でした。会員で意見を出し合い、ビューポイントやハイキングコースなど地図に載せるものを決定していきましました。作成したマップは地区の世帯に配布され、高野下駅前に看板として建てられているほか、ハイキング等のイベント時に参加者に配布されています。また、九度山町史を元にした推出地区の小冊子「推出の変遷」を作成し、各戸に配布しています。

「推出ふるさとづくりの会発足へ」発足のきっかけとなったのは、平成27年に和歌山県の協力で、講師に東京農工大学の福井先生を招き、地域づくりに関するワークショップを開催したことでした。ワークショップは、3回にわたって行われ、約80人の方が参加し、地元の魅力や観光資源となり得るものを探し、活性化するにはどうすればよいか話し合われました。その中で、高野下駅を曼茶羅のように利用するアイデアや、推出地区全域をハイキングコースにする「推出丸ごとハイキングコース」、空き家をみんなの店にする、などといった様々なアイデアが出されました。これらのアイデアを実現するために、平成27年6月に「推出ふるさとづくりの会」が発足しました。



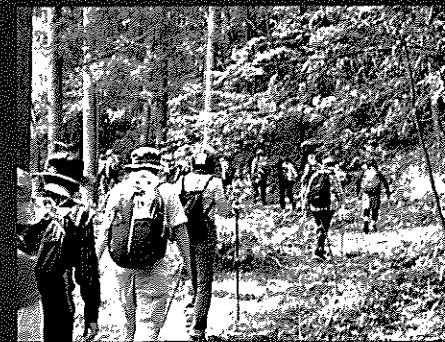
▲推出周辺ガイドマップ



▲手作り案内看板



▲手作り案内看板作製の様子



▲榎尾道トレッキングの様子

「推出ふるさとハイキング」と題したハイキングイベントは、昨年まで6回行っており、会員は、ガイドを務めたり、地元の野菜入りの特製豚汁を振る舞ったりと、一丸となってイベントを盛り上げています。また、今年の5月には、世界遺産不動坂「榎尾道」を歩く榎尾道トレッキングも行っており、道中には、手作りの案内看板を見ることが出来ます。次の榎尾道トレッキングは、10月6日に予定されています。興味のある方は是非参加してください（詳しくは、広報くどやまお知らせ版6ページ）。

推出ふるさとづくりの会の代表を務める前滝さんは、「折しも今秋、高野下駅のリニューアルオープンが予定されており、まだまだ課題は多いが、これからもより多くの方々が参加し、楽しんでもらえる企画を考えていきたい」と話していました。

エアロビクス大会で優秀な成績

7月6日に大阪府熊取町のひまわりドームにおいて「スポーツエアロビック2019大阪オープン」が開催され、ジュニアトリオ部門で、嶋田有彩さん(九度山小学校4年)、永吉叶愛さん、井ノ下虹恋さんのトリオが優勝し、全国大会出場が決まりました。2020年1月19日に静岡県袋井市のエコパアリーナで開催される「第15回」JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会in袋井」に出場します。

(左から永吉さん、井ノ下さん、嶋田さん) ▶



水泳大会で優秀な成績

6月30日に和歌山県立秋葉山公園県民水泳場で、「第47回和歌山県年令別選手権水泳競技大会」が開催され、九度山小学校の安念佳音さん、大谷碧依さん、中野凪彩さんの3名が入賞を果たしました。(敬称略)

- 女子50m平泳ぎ 第3位 安念 佳音
- 第5位 中野 凪彩
- 女子100m平泳ぎ 第3位 安念 佳音
- 第5位 中野 凪彩
- 女子50m背泳ぎ 第3位 大谷 碧依
- 女子100m背泳ぎ 第4位 大谷 碧依
- 女子100m自由形 第8位 中野 凪彩

(左から安念さん、大谷さん、中野さん) ▶



九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績

6月29日～30日に、京都府舞鶴市東舞鶴公園テニスコート他で「第10回ひまわり杯舞鶴赤れんがジュニアソフトテニス大会」が開催され、当クラブが優秀な成績を納めました。(敬称略)

- 男子下級(5年生以下)の部
- 第3位 木上 漣(5年)・海堀 大翔(5年)

7月6日～7日に、和歌山市紀三井寺公園庭球場で「第27回近畿小学生選手権ソフトテニス大会」が開催され、当クラブが県代表の一員と個人として優秀な成績を納めました。

- 団体戦 男子の部
- 準優勝 和歌山県Aチーム
- (正野 貴之(6年)・宮下 光希(6年))

- 個人戦 男子の部
- 第五位 正野 貴之(6年)・宮下 光希(6年)

